



みんなのできる 地球温暖化防止活動

― 推進員として、古郷復興の役に立ちたいです!! ―

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人つくしまNPOネットワーク)

■生涯学習コーディネーター

富岡町在住の地球温暖化防止活動推進員の藤沢道徳さんは、多数の資格を保持しています。「中学・高校の社会科教員免許、国家資格のキャリアコンサルタントの資格などです。生涯学習コーディネーターの資格を、推進員の活動の中で生かしていきたいですね。」剣道錬士7段や富岡町少年剣道団指導員、SDGs for School認定エジュケーターの資格も持ち、現在はおうちエコ診断士という資格に挑戦中です。

■推進員になったきっかけ

大手建設会社の社員として、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故からの復興支援業務に長く携わる中で、故郷の復興のニーズがハード面から心の復興に移行しつつあると感じたと言います。

22年5月に退職し、復興加速の願いを込めて起業し

ました。そんな時に推進員養成研修会の開催を知り、12月に受講しました。「私の仕事は、私を育ててくれた故郷に恩返しをすることです。」地球温暖化防止やSDGsの活動は「心の復興」を豊かにするに違いありません。

■国際環境NGO、うちエコ診断士

「月に一度、社会福祉協議会主催のゴミ拾いに参加しています。国際環境NGOにも所属し、地球温暖化防止のイベントやアクションで学びを続けています。」家庭では100%再生可能エネルギー使用の電力会社に切り替え、EVバイクやスマートフォン、パソコンなど可能な限り太陽光発電で充電しているそうです。「自宅で食べる野菜は家庭菜園の無農薬野菜。コンポストを利用し生ゴミの削減にも努めています。」

■みんなのできる地球温暖化防止活動

「故郷復興の役に立ちたいという思いが年々強くなります。」地球温暖化防止に関する講演会や勉強会の講師を務める準備を始めたと言います。

「伝えたいことと、伝えることは異なります。本当に伝わっているのかとても気になります。クイズや動画を交えた分かりやすい資料が必要です。参加した地域の方々に、将来の希望を届ける講師になりたいです。」(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>